

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第3回美幌町総合計画審議会 第1部会
開 催 日 時	令和4年11月17日(木) 18時30分 開会 19時20分 閉会
開 催 場 所	役場庁舎1階 第1会議室
出 席 者 氏 名	【第1部会委員】 杵師委員、平田委員、熊崎委員、石澤委員 【町】 志賀消防長、横山消防本部次長、尾方美幌消防署長 遠藤教育部長、多田学校教育課長、浅野スポーツ振興課長、 片平学校給食課長、立花社会教育課長、鬼丸博物館課長 竹花図書館長
欠 席 者 氏 名	佐藤朴元委員
事務局職員職氏名	沖崎政策課長
議 題	第6期美幌町総合計画基本計画(後期)素案について 基本目標5
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	・第6美幌町期総合計画 基本計画(後期)素案 ・第6期美幌町総合計画(平成31年度～令和4年度) 基本計画(中期)評価結果報告書 ・第6美幌町期総合計画 中期(平成31年度～令和4年度)評価結果 ・第6美幌町期総合計画 後期(令和5年度～令和8年度) 施策及び事務事業
会 議 録 の 作 成 方 針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p><u>開会</u></p>
平田部会長	<p>第一部会の委員会を開催させていただきたいと思います。今日は29ページ、1-8 消防・救急体制の強化から始めさせていただきたいと思いますので、お願いします。なお、この説明が終わったのち、消防関係は退席いたしますのでご了承ください。それでは消防さんお願いいたします。</p>
沖崎政策課長	<p>すみません。役場職員側の説明員が前回と変わっておりますので、説明員のご紹介を先にさせていただきよろしいでしょうか。</p> <p>（審議会委員、役場側職員の紹介）</p>
沖崎政策課長	<p>ありがとうございます。それでは早速審議の方に移りたいと思いますが、まず議事進行につきましては前回に引き続き平田部会長にお願いしたいと思います。</p> <p>あと、各部局からの説明に関してですけれども、基本的には資料Aの簿冊の中の後期素案に沿って進めていきたいと思っております。なお、審議項目の方が多数ありますので、説明につきましては簡潔にお願いしたいと思います。ですので文言の修正ですとか、文章の表現を変えるだけというような内容につきましては、説明を省略させていただきたいと思っております。説明にあたっては施策の大区分ごとで区切りまして説明をさせていただきます、その後質疑を受け付けるという形での進行としたいと思います。</p> <p>また、平田会長からお話ありました通り、本日は施策の1-8 消防・救急体制の強化のから入っていただきたいと思います。</p> <p>それではよろしくお願いします。</p>
平田部会長	<p>それでは消防の方からお願いいたします。</p>
志賀消防長	<p><u>1-8 消防・救急体制の強化</u></p> <p>それでは1-8 消防・救急体制の強化について説明させていただきます。今、お話にありました通り資料Aの基本計画後期素案の29ページになります。</p> <p>まず、現状と課題につきましては令和3年度に消防庁舎建設事業が完了いたしましたので、更新時期を迎えます高機能消防指令センターの整備に向けた内容に変更しております。</p> <p>また、減少傾向にある消防団員の確保、増加する救急活動の充実強化、応急手当の普及活動につきましては継続して取り組んでまいります。</p> <p>次に、基本的な考え方と指標につきましては、消防力の体制強化と災害対応能力の向上、火災予防の計画及び救命処置の普及を目指す基本的な考え方に変更はございません。指標につきましては、計画策定時の目標数値を実績数値に置き換えると語句の解説を追加いたしました。</p> <p>次に施策について説明いたしますので、30ページをお開き願います。施策の変更箇所につきましては、(1)常備消防体制の充実のうち、③デジタル無線設備の更新等維持管理を通信指令施設等の維持管理に変更し、新たに④として高機能消防指令センターの更新を追加いたします。高機能消防指令センターにつきましては平成21年に整備した通信指令台と平成24年に</p>

	<p>整備したデジタル無線設備で構成されており、今後更新時期を迎えることから、③の施設の維持管理、④を機器の更新整備として区分を整理したものでございます。</p> <p>(2)火災予防広報活動の推進の①の施策内容の変更箇所につきましては、経過年数の訂正でございます。</p> <p>また、(6)消防施設の整備につきましては新しい消防庁舎の建設により耐震化の目標を達成いたしましたので削除したものです。</p> <p>総合計画の後期基本計画におきましても、消防救急体制の高度化と災害対応の充実強化に向けてそれぞれの施策に取り組んでまいります。説明は以上でございます。</p>
平田部会長	<p>今消防の方から説明がありましたが、これにつきまして、質疑がございましたら委員の方からお願いしたいと思います。</p> <p>(なし)</p>
沖崎政策課長	<p>ありがとうございます。そうしましたら、この1-8につきましては素案の方の修正等はないということでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
沖崎政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは消防の方、どうもありがとうございました。ここで退席させていただきます。</p>
平田部会長	<p>それでは次、99ページ、基本目標5の夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり、5-1 幼稚園、学校教育の充実から担当の方から説明をお願いいたします。</p>
遠藤教育部長	<p>5-1 幼稚園、学校教育の充実</p> <p>ちょっと失礼させていただきます。冒頭中期結果の評価結果でございますけれども、これからご説明いたします5つの施策区分がございます。いずれも評価の平均値は4.0以上となっておりますことから概ね順調に進んでいるといった評価となっておりますのでご承知いただければと思います。</p> <p>それでは資料3-1ですね。99ページからになります。後期素案についてご説明させていただきます。まず、5-1 幼稚園・学校教育の充実でございますが、次の100ページに施策を掲載しておりますので100ページをお願いいたします。</p> <p>施策の部分(1)幼稚園の充実です。①と②につきましては、幼児教育の無償化によりまして、平成30年度に子ども子育て支援制度が新設されております。このため、私立幼稚園就園奨励費補助制度が廃止となりましたので削除をしているところでございます。その下に①としまして小学校教育の連携接続の強化であります。これまで幼稚園保育園から小学校に円滑に接続できるよう連携しておりますが、特に支援を必要とする児童につきましては、教育支援計画といった個々の様態などを記した書類を整備する中で幼児期から高校生まで引き継がれる支援計画により、個々の成長に応じた取り組みを行うため連携を強化してまいります。</p> <p>次に101ページの施策の区分(2)でございます。小中学校の教育環境の充</p>

実です。ここでは②教育用コンピューターなどICT教育環境の整備充実につきまして、令和2年度に整備いたしましたGIGAスクール用の端末について記載しております。児童生徒1人に1台のタブレット端末を貸与し、授業での活用、あるいは家庭の持ち帰りにより様々な活用されている状況にあります。令和2年度に約2億円を投じて整備導入しましたGIGAスクール構想といわれるものでありますが、当然ながら機器には耐用年数がございますので、更新等を含めた計画的な取り組みを進めてまいります。次に④多子世帯に対する支援であり、新規で追加いたします。こちらは平野町長の政策の一つであります。子育て支援政策の一環として経済的な負担軽減を図るため、第3子以降の給食費を無償化する事業であり、引き続き町の政策で取り組むものとして記載させていただきました。

続いて施策部分(3)小中学校の教育内容の充実です。ここでは③国際理解教育の充実につきまして、令和2年度より語学指導助手を2名体制に拡充するほか、各小学校にイングリッシュルームを整備した中で英語教育に力を入れているところでありコミュニケーション能力の育成などに取り組んでいくものであります。

次に④地域と一体となった学校づくりの推進です。これまでは学校評議員という制度で進めてきておりましたが、平成29年に法律が改正されまして、学校運営協議会を設置するよう努力義務が課せられました。本町におきましては、令和元年度に設置したところであります。地域の子供は地域で育てるといったように、これまで以上に学校経営に地域の皆さんに参画いただくものであります。

また本町では3つのきょういく応援団という取り組みによりまして、学校支援のため様々な協力をいただく町民の皆さんがいらっしゃいますが、制度が始まってすぐにコロナ禍になり現在も思うような活動ができていないのが実態でございます。

次に102ページをお願いいたします。ここでは⑩小中一貫教育の推進であり、新規で追加させていただきます。令和3年1月文部科学大臣の諮問機関であります中央教育審議会の答申において、9年間を見通した新時代の義務教育の在り方として、義務教育小中校を通した指導、指導体制の構築、評価指導の専門性を持った教師によるきめ細かな指導体制の充実などが盛り込まれました。

本町におきましても国が推し進める9年間を見通した教育環境の連続性を図るため、小中一貫教育の導入を検討することで準備を進めているところでございます。また出生数の減少から少子化に拍車がかかっており小学校の入学者が毎年減り続けております。このような背景も重なり、町立学校の最適化に向けまして、合わせて検討を進めてまいります。

次に施策の区分(5)高等学校教育の充実です。①の間口確保や教育施設設備の充実につきまして、近年町内唯一の美幌高校への入学者が伸び悩んでおります。現在の学区が北見市と同じオホーツク中学区であることから、これまでも学力のある生徒は北見市内の学校に入学するといった動きになっております。町としましてはこれまでも対策協議会を立ち上げ生徒募集に支援している状況であり、特に普通科におきましては苦戦を強いられている状況にあります。ご承知のように来年度から農業課の間口が一間口となり、未来農業科としてスタートいたします。みらい農業科はオホーツク管内唯一の農業科であることから道内、あるいは道外からの生徒を受け入れることができますが、普通科につきましては学区規制があるため、町外からは定員の10パーセントしか受け入れることができません。つまり地元の中学生をいかに取り込むかにかかっております。引き続きオール美

	<p>幌体制によりソフト、ハードの両面から支援の在り方を検討していく所存でございます。以上でございます。</p>
平田部会長	<p>幼稚園学校教育の充実について教育委員会の方から説明在りましたが、委員の方で質問などありましたらお願いいたします。</p>
石澤委員	<p>よろしいですか。2点ほどちょっと私なりの感覚の中でこうじゃないかなと思ったのをちょっと述べさせていただきたいんですけど、99ページの小中学校の欄の下から5行目のところから始まる、「また特別支援教育の推進にあっては障がいのある児童・生徒の状況を的確に把握し、保護者のニーズに応じた適切な教育の推進に努める必要があります。」という欄なんですけど、ここに保護者のニーズって書いてあるんですけど、私の感覚では保護者のニーズではなくて、児童生徒に応じた適切な教育の推進だと思ってるんですね。保護者のニーズと言え、もう親のニーズになるので、ここで言う児童生徒に向かっのニーズではないと思います。この部分、私の感覚で言えば、もうちょっと児童や生徒に目を向けた言葉尻じゃないと、顔を伺うような感じで書いてあるような捉え方をしてしまいました、私としては。</p> <p>あともう一点なんですけど、児童生徒、99ページには児童生徒って書いてあるんですけども、こちらの100ページの真ん中の基本的な考えと指標の欄ところには子どもたちって書いてあるんですね。99ページには児童生徒と書いてあるんですけども、こっちの方の基本的な考えと指標には子どもたちって書いてあるんで、どっちとも同じ意味合いだと思うんですけども、文章にするのであれば、どちらかに統一したほうがよろしいのかなと。</p> <p>私なりの2点を直す直さないかはお任せいたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
遠藤教育部長	<p>ご質問いただきましてありがとうございます。まず一点目の保護者のニーズ、まさに石澤委員さんおっしゃる通りでございます、基本的にはその子に応じた対応というのがまず一つですけども、正直なところをこれ書いてしまってますね。やっぱり実はあの保護者のエゴで、本当は特別支援学級に入れさすってというのが妥当だろうっていうそういう委員会があるんですけども、いざ保護者様に説明すると、いやいやうちの子は普通学級にっていうことで、結局普通級に入ってもちょっと言葉適当かどうかかわからないんですけど、お客さん状態になってしまうんですね。やっぱり授業がわからない。年度途中で学級が変わる転級っていうのもあるんですけども、どうしてもですね、小学校入ったばかりで自分の子の思いっていうか意見があるとしても、幼稚園から上がってきたばかりですから伝えられない、どうしても保護者の意見が実は学級に決まってるって正直に書いてしまった文言ですけども、あまりにもストレート過ぎますので、その辺はちょっと表現変えたほうがいいかなと思ってます。</p>
石澤委員	<p>私もそうかなって思いながら、私の感覚で言うと、今の話だと二つの親の方と児童の方のニーズがある、そういった意味の書き方も、二方向の書き方も盛り込めるっていう方向ではあるのかなと。親の意見も取り入れながら、児童の能力については教育指導しますとか、そういう書き方っていうのは、これは私の個人的な考えですけど。</p>

遠藤教育部長	<p>その辺はちょっとストレートに書きすぎているかなと思います。ちょっと考えたいと思います。</p> <p>もう1点。児童生徒か子どもか統一ということなのですが、実はここ幼稚園のことも書いていましたので、それをひっくるめて子どもたちと表現しているんですね。幼稚園では児童とは言わず幼稚園児って言い方をするもので、ただですね、まだ幼稚園っていう旗揚げをしていますので、出来れば子どもたちって表現の方が。</p> <p>基本的な考え方と指標に項目が4つありまして、二つ目だと学校のことを書いているから児童生徒って言ってもいいんでしょうけど、ただ統一感が無いものですからわざとですね。</p>
石澤委員	使い分けてらっしゃる。
遠藤教育部長	そうなんです。ここは幼稚園の部分が入っていますので、幼稚園児とまで入れるよりは子どもたちにさせてもらっています。
石澤委員	はい、わかりました。
平田部会長	<p>あとはございませんか。</p> <p>(なし)</p>
平田部会長	<p>はい。無いようですので、次に移らせていただきます。</p> <p>次は5-2 生涯学習の充実についてお願いいたします。</p>
遠藤教育部長	<p>5-2 生涯学習の充実</p> <p>それでは、5-2 生涯学習の充実になります。生涯学習につきましては子どもから高齢者まで全ての町民が対象となります。情報が目まぐるしく進展する中で、既存の取組に捉われない新たな発想やアイデアを最大限に生かしながら、時代やニーズに即した活動の充実や推進が求められています。では、施策であります。106ページをお願いいたします。</p> <p>施策の区分(1)生涯学習の推進体制の確立です。ここでは②施設の空き情報やイベント情報、団体・サークル情報の提供です。主に町民会館やびほーるの利用状況のお知らせや教育委員会専用のYouTubeチャンネルを活用した各種の情報発信に努めてまいります。</p> <p>次のページです。③地域人材の発掘、登録と活用促進です。現在整備しております教育資源リストにつきましては先ほど101ページでご説明をいたしました。学校運営協議会における3つのきょういく応援団、こちらを基本に発展的に統合させ地域住民と学校との連携・協働に努めてまいります。</p> <p>次に施策区分の(3)生涯学習活動の促進です。次のページになります。108ページをお願いいたします。上段の③学習情報提供の充実ですが、こちらにつきましては先ほど同様に情報提供を充実させるために町のFacebookやYouTubeを活用して各種事業やイベントを発信して参りたいと考えております。</p> <p>次に⑤情報化に対応した学習機会の充実です。特に高齢者をターゲットとした取り組み内容となりますが、まち育出前講座を活用した中で、スマートフォンの操作方法などにつきまして、情報化社会に対応した学習機会を提供してまいります。</p>

	<p>次に施策区分の(4)図書館、読書活動の充実です。ここでは①図書館の増改築の検討につきまして、新図書館の整備に向けて昨年度より図書館整備検討委員会を立ち上げ、基本構想を策定しております。本年度におきましては、基本計画を策定することで作業を進めている状況であります。次に②図書館における共同図書資料の充実ですが、時代でもありますデジタル化により利用しやすい郷土資料室の構築を進めてまいります。</p> <p>次に109ページをお願いいたします。施策区分(5)博物館の充実です。④博物館の施設周辺の整備です。昭和62年に建設されまして35年経過しております。施設内外の設備等が痛んできております。年次的に改修工事等を実施しております。また飽和状態であります収蔵スペースの確保に向け、新たな収蔵庫の建設にむけて検討しているところでございます。</p> <p>以上であります。</p>
平田部会長	生涯学習の充実につきまして担当の方から説明ありましたが、委員の方で質問などございましたらお願いいたします。
熊崎職務代理者	生涯学習活動の部分の108ページ、学習情報提供の充実ですね。これが広報とかにも関わってくるのかなと思うんですけど、Facebookや公式YouTubeチャンネルという書き方になっていたのが、多分なんですけど、あと5年くらいするとFacebook使ってる人の数ってがっつり減ると思うんですよ。「SNS」でくくってしまったほうが多分良いような気がします。表現として書くときに、YouTube自体もう何年かすると多分飽きられてすぐに次の媒体っていうふうになっているので、若年世代なんかでも、10代なんかでももう既にLINEを使っていないという話も出てきていて、それっておじさんが増えると若い子がいなくなるっていう分かりやすい図式が出来上がっていて、若い子にまたおじさんが群がると若い子、別なものにっていうなんか次々動いていくような感じになるので、ただSNSという全体のシステム自体は残っていくと思うんで、次のSNS、次のSNSってなってくると思うんですよね。なので、なんとなく広報的な部分で言うと表現的にはそうやって変わっていったほうがいいのかなという感じはしました。
遠藤教育部長	はい、了解です。SNSにしたほうが次は何か違うものが出てきても対応できるっていうか。
熊崎職務代理者	それに敏感に対応するっていう対応の姿勢についても出せるかなと思います。
遠藤教育部長	わかりました。同じように109ページの博物館にもですね、③にメールマガジンとかFacebookって書いてあります。ここもSNSみたいな形にしたほうがいいのかなと思います。検討させていただきたいと思います。
熊崎職務代理者	山の水族館なんかもTwitterとかがものすごい人気で、そっちかというのもある。
遠藤教育部長	はい、わかりました。ありがとうございます。
平田部会長	他の委員からございませんか。

<p>平田部会長</p>	<p>(なし)</p> <p>無いようですので、次5-3 青少年の健全育成についてお願いいたします。</p>
<p>遠藤教育部長</p>	<p>5-3 青少年の健全育成</p> <p>大きな3項目目です。青少年の健全育成になります。青少年を取り巻く環境はこれまでの社会環境の変化により様々に変わっており、現在はSNSの利用が容易なことから、子どもたちには必要のない情報まで案内している現状でございます。先ほど申し上げました地域の子どもは地域で育てることを念頭に、子どもたちにとって安心安全な地域づくりを提供するため、青少年育成センターや青少年育成協議会などとも連携した取り組みを引き続き行ってまいります。では、施策でございます。112ページになります。</p> <p>施策の(1)青少年の健全育成推進体制の充実です。ここでは①青少年健全育成団体等との連携です。②も合わさりますね。子どもを守る安心安全な環境づくりの推進でございます。町内の関係団体の協力により、見守りや遵守活動を引き続き取り組んでまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>続きまして113ページ、施策区分の(2)青少年育成活動の充実です。ここでは②コミュニティスクールの活動促進です。本町には平成16年度より各小学校区単位でコミュニティスクール推進事業が実施されております。先ほどの101ページでご説明いたしました学校運営協議会とも連携しながら、地域と学校の協働による青少年の健全育成に努めてまいります。以上でございます。</p>
<p>平田部会長</p>	<p>5-3について担当部長より説明がございましたが、質疑ある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>(なし)</p> <p>ございませんか。</p> <p>それではないようですので、5-4 芸術、文化の振興についてお願いいたします。</p>
<p>遠藤教育部長</p>	<p>5-4 芸術、文化の振興</p> <p>114ページになります。大きな4項目の芸術、文化の振興になります。本町には文化芸術活動を行う団体やサークルは数多くあり、町民会館やびほーるを拠点に幅広い年代の皆さんが文化に親しむ取り組みを行っております。また町村では珍しく博物館を持っております。昭和62年開館以来、毎年1万人を超える来館者があり、地域に根差した取り組みを行っているところでございます。</p> <p>では施策であります115ページになります。施策区分(1)芸術文化活動の促進です。これは①芸術や文化活動団体の育成、援助でございます。高い技術と感性を有する青少年に対して人材育成の観点から未来のアーティストを目指す子どもたちに積極的に支援を行い文化の底上げを目指してもらいたいと考えております。</p> <p>次に施策区分の(2)文化財や郷土資料等の保全、継承です。ここでは②郷土資料の収集でございます。開館当初の博物館は資料数がゼロであったことから一気に収蔵資料を増やす必要があった時代でもあり、厳密に選別す</p>

	<p>ることなく、特に美術資料は寄贈資料そのまま受け入れた時代でもありました。</p> <p>今後につきましては、資料の収蔵スピードや収蔵量が短期間に急増する状況ではありませんが、経年的に資料を蓄積していかねばなりません。現在収蔵庫が手狭状態であることから、新たな収蔵庫建設に向けて検討を実施して参りたいと考えているところでございます。以上でございます。</p>
平田部会長	はい。5-4について質疑ある方は挙手をお願いいたします。
石澤委員	びほーるの開催の行事の件数、中期実績の50件が入っていますけども、後期はこの表だと75件、目標であって規模的な部分合わさっているところもあるかもしれないんですけども、なんか現実的な数値なのかどうか知りたいなど。計画されて75件出されているのかどうか。
遠藤教育部長	担当課長から。
立花社会教育課長	私の方から回答したいと思います。この中期実績がある50ということで、単純に行きますと毎週土日に、分かりやすく言うのですね。そういう形になっているかなということで、実はびほーるで同じような形のイベントであれば、準備がちょっと短縮できるということで数が出来ることにはなるんですけども、幕舞台をやってそして今度は反響板をやってとか、あるいは講演会やってとか変わっていくものがいっぱい入るとですね、実はこの数字まで行くというのは非常に難しい状態です。ですから、町民の方の申し込みのものによっては、そういったあまり具体結果がないものであれば、こういった件数まで行く可能性があるんですけども、正直なところ今、皆さんからそういうことを考慮して申し込みされるわけでは当然ありませんので、50件っていうのを結構今、きつい状態になっているのは現実であります。どうしても仕込みからリハーサルやって本番やって次、片付けるってことで、単純には4日半ぐらいになりますので、1週間でいけば7日のうち4日間使うということで、そこにさらにもう1個入るとなると、ちょっと大掛かりなイベントですと1週間に2個は厳しいというようなことにもなっています。ただ、先ほど言った通り、例えば講演会あってまた講演会であれば、あまり変化のない内容ですから、そこは1週間に2個入ってもなんとかなるといえるケースもありまして、一概に75が妥当かって言われたらそういったことを考えれば一応可能ではありますけども、現実今の使い方ではいけばなかなか厳しい数字かなっていうことです。
石澤委員	わかりました。ありがとうございます。
平田部会長	他ございませんか。
熊崎職務代理者	今の数字のお話をお伺いしてあれなんですけど、多すぎないですかね、逆に。
立花社会教育課長	正直今、稼働率で見ると85%くらいなんですけどね。
熊崎職務代理者	それって結構辛いですよ。
立花社会教育課長	はい。ほぼ休めない状況になります。

熊崎職務代理者	ホールが3つある状態をフルに稼働できないんだっていう話をちらっと聞いたことがあるんで。
立花社会教育課長	そうですね。びほーるをやりますと、委託業者含めて5人から6人、人が必要になりますので、その人間がびほーるに張り付きますとあと残っているのは社会教育グループということで、先ほどの青少年事業ですとか成人事業ですとか、そっちを担当する職員しか町民会館に残らないんです。その人間で多少音響とかですね、整備してやれるものであればいいんですけども、またそこで照明が必要ですか音響が必要ですか、プロのそういった技術が必要なものを要求されると同時開催はちょっと難しいということになっています。
熊崎職務代理者	それで思ったんですけど、文化振興担う人材の育成っていう部分あるじゃないですか。芸術文化の促進のところで、この育成という部分にそういったスタッフワークの育成というのも含まれてもいいのかなと思ったんですよ。
立花社会教育課長	例えばここにカかってはいいんですけども、舞台芸術ワークショップということで、毎年担当する職員を呼んで、美幌町だけでなく他の館の方とも交流をしながら、そういった技術を磨いていきたいと思いますということで数年前からやっております。
熊崎職務代理者	なるほど。交流が生まれてくれば結果的にはびほーるでやってるときに小ホールでできる可能性があるわけですよ。
立花社会教育課長	そうですね。うちの職員じゃないんだけど、ヘルプでとか当然そこでお金を払ってきてもらってという、あのプロフェッショナルの機械、舞台装置が入っていますので、それをきちっと操作を習得しなければ、例えば私やりますって手を上げていただいても、ちょっと待ってっていう話になってしまうので、そうならないように今そういった操作できる人をワークショップという形で徐々に育成しているといいますか、美幌が忙しいときには来てもらってお金を払ってでも来てもらって、逆に美幌ちょっと余裕があれば逆に行きあげること、そういったやりとりはできるのかなということで今、進めているところです。
熊崎職務代理者	僕の方なんかは劇団をやっているんで、うちのメンバーの中に例えば照明とか音響、びほーるでいじれる人がもしも育てられれば、要はびほーるでやっているんだけど小ホール貸してくださいっていう形で小ホールで開催ができるわけですよ、できれば。僕は別に美幌から出るってことはないから美幌の劇団としてびほーるで操作して講演ができるっていう意味で育つことが出来るかなと思っていて、なんかそういう認可証じゃないですけど、この人だったら大丈夫だよという免許証とかいうものが出せるようなシステムになれば面白いかなと思ってたんです。なんかそういう町だけで育成ができる、もしもそれが可能だったら、もしかしたらどっか外に出ていく可能性もでてくるんで、もっと大きな舞台で照明いじれるようになるためのひとつのここでの経験が生きてよってということが、もしかしてできるっていうやつも出てくるのかなと思って。なんかわかんないですけど、なんかそういうのが今後増えたらいいなとちょっと思っています。

立花社会教育課長	<p>て。この数字がすごくそうだったんで今のメンバーの数だけだったら。</p> <p>そうですね、正直、はい。あと2セットといいますか、要するに人間がですね。2セットくらいいいじれる人間がいれば。</p>
熊崎職務代理者	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
平田部会長	<p>あと、ないですか。</p> <p>(なし)</p>
平田部会長	<p>はい。では、次に移らせていただきます。5-5 スポーツ振興についてお願いいたします。</p>
遠藤教育部長	<p>5-5 スポーツ振興</p> <p>はい。117ページ、大きな5項目目、スポーツ振興になります。本町ではこれまでオリンピックやパラリンピックに出場する選手を輩出するほか、少年団活動が非常に盛んであり、その活動により各協議会等においても優秀な成績を収めております。一方で活動を支える側の高齢化あるいは指導者不足が課題ともなっており、指導者の育成と各団体の活動を支援していくことが必要となっております。</p> <p>では施策は118ページをお願いいたします。施策の部分(1)生涯スポーツの振興です。ここでは②スポーツ推進計画の策定でございます。今月7日に推進計画策定委員会を立ち上げまして令和5年度中の完成を目指し美幌町のスポーツ推進計画の取り組みとなっております。</p> <p>次に施策部の(2)スポーツ施設の整備、活用です。ここでは②屋内多目的運動場の整備を消しておりますけども、サニーセンターが完成したことにより削除させていただきます。</p> <p>次に施策区分の(3)スポーツ活動の促進です。ここでは③スポーツ合宿の誘致促進でございます。美幌グランドホテルの撤退によりまして合宿誘致活動が行えない状況下にありましたが、皆様ご承知の通り来年春にグランドホテル跡地にビジネスホテルが進出してまいります。その秋には完成予定と聞いてございます。この施設を上手く活用できないかなど誘致活動が進められるよう取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
平田部会長	<p>今説明在りましたスポーツ振興について質問などありましたらお願いいたします。</p>
熊崎職務代理者	<p>いや。僕こないだ、今年ですよ。あのオリンピック冬季五輪を見ていてクロスカントリーがこんなに面白い競技だったのかというのはびっくりしまして。言ってしまうとルールを知らなくてですね。でも石田正子選手がいるのに石田正子選手ってどんなだろうってバンクーバー五輪のやつを見てたらこんなに面白いのかってびっくりしたんです、ほんとに。この面白さをみんなに伝えたいって思ったんですけど。そもそもなんでこんなすごい人がいるのに、そんなに大きく美幌町って盛り上がってないんだと思って。なんかもっと町を挙げてオリンピックに出てんだよ、うちの町の選手がと思って。なんかみんなでワーって言うてもいいんじゃないかと思っていたくらいドキドキしていたので、それもこれもなにも僕はクロス</p>

	<p>カントリーのルールも知らなかったのでこんなに盛り上がってなかったんだと思う。なんかそういうところを、こんないい選手がいる状態でもあるので、みんなの声援をより熱くなっていく声援をより熱くしていくこととか、集まった声援を選手に届けるとか、そういった部分っていうのがあると選手ももっと頑張れると思うし、新しい選手が生まれてくるだろうなと思うので、そういう熱の踏み方というかをちょっと考えてもらいたいなと思って。そんなことありました。</p> <p>すみません、僕の話です。</p>
遠藤教育部長	<p>オリンピックとかパラリンピック、開催されるとやっぱり町から出てるとかなりの熱量で盛り上げてはいるんですが、年中通してということはちょっとないんですけども、幸いにわが町はオリンピック、パラリンピック選手を多く輩出しておりますので、そこは皆さんも一定の理解を求め、その時期になったらめっちゃめっちゃ盛り上がるんでその辺理解いただければと。</p>
熊崎職務代理者	<p>もっとあっていいんじゃないかと思うんです。あそこまでとは言わないですけど、バンクーバー五輪の時、オリンピックの会場で最後、選手がデッドヒートするじゃないですか。ゴールする時も会場の熱狂がすごいんですよ。あれはそういう文化なんだからなんでしょうけど、外国って。なんかもっと最初から夏でも冬でも、身近にその選手というかスポーツがある状態を感じられていれば、よりその競技の楽しさ、奥深さ、ここでトップに立つことの大変さっていうものが伝わっていくのかなと思うんです。</p>
遠藤教育部長	<p>石田正子さんも何気なく入ってきたり、図書館のヘビーユーザーなんですよ。来てみたらどうですか。</p>
熊崎職務代理者	<p>それって、スーパースターが。すごいドキドキしながら声かけそう。</p>
遠藤教育部長	<p>というPR方法はいかがでしょう。</p>
熊崎職務代理者	<p>それこそ色々な見せ方があると思うんです、はい。僕も考えます。</p>
平田部会長	<p>あと、ございませんか。</p>
石澤委員	<p>さっき、私も発言した、運営計画のびほーの数字の件とか、前の数字のこの人数の件もそうなんですけど、現実的な数値を掲げられたほうが長中期的にはよろしいかなというふうに感じましたね。補足というか伝えたかったところもそういうものがあるんで。全体的に希望的な数値によると思われるところもあるかなっていう、中長期的な計画、美幌町の人口も減ってるんで、そういった意味では、例えばそういう青少年の活動の巡視活動参加者数とか今は中期の段階では570名って書いてある。112ページですね。中期の実績では570名って書いてあるのに後期だと700名。そんなに多くいるのかなっていう疑問値とか、数値的な部分で美幌町の人口が減っているんでこれはもう現実的なところだと思われるんで、ちなみに現実的な数値を書かれたほうがというふうに、私個人の意見なんでどうするかはお任せします。</p>
遠藤教育部長	<p>ありがとうございます。実は中期実績の中にコロナの2年間がありました</p>

	<p>て、ここで数字がぐんって減っているんで、一概に人口が減ってるからっていうものでもありませんけど、その辺ちょっと精査させていただきたいと思います。</p>
石澤委員	<p>お願いします。</p>
平田部会長	<p>はい。今教育委員会の方で5-1から5-5まで終わりましたが、通して言い忘れたよとか、何かそういう方、委員の中にいらっしゃいましたら伺いたいと思いますけど。</p> <p>いらっしゃいませんか。</p> <p>(なし)</p>
平田部会長	<p>はい。無いようですので、教育関係の5-1から5-5まで終わらせていただきます。</p>
沖崎政策課長	<p>今の一部修正等について持ち帰るというお話になったかと思うんですけども、その修正案といいますか直したものについてはどのような形で。</p>
石澤委員	<p>私の発言の部分においては私の個人の感想なので直すか直さないかはまかせて、直した結果は求めません。ご自由に。</p>
沖崎政策課長	<p>それでは、もう一度部会を開くとかそういうことではなくて、今度全体会議に他の部分の修正とかも出てくると思いますので、その時にお示するという形でよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
沖崎政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あともう1点ですね。今回の部会審議ではないんですけども、前回の部会審議において、色々ご意見とかご質問とかいただいた部分についてなんですけれども、そちらも併せてそのような形で審議会を開くということ、部会を開くということではなくて、全体会議の時にお示しすることよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
沖崎政策課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと連絡事項があるんですけども、今回、第1部会の受持ちの部分につきましては、審議の方これで全て終了という形になるんですけども、ということでいきますと来週、11月24日に3回目の部会審議を予定していたんですけども、そちらは開催しないということでいきたいなと思います。</p> <p>そしてただいまお話しした通り、全体会議、この後開くような形になるんですけども、そちらについては改めて日程の方をご連絡差し上げることしていきたいなと思っておりますので、ご承知おきをお願いいたします。</p>
平田部会長	<p>だいたい目安としてはいつ頃に予定されてますか。</p>

<p>沖崎政策課長</p>	<p>12月入ってからですね。年末のお忙しい時期に入ってくるかとは思いますが、事前に日程調整等もさせていただいた中で決めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>平田部会長</p>	<p>第1部会としては今日で終了ということで、文言修正等については、全体会議で修正箇所があれば報告してもらおうということで構わないですね。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>平田部会長</p>	<p>はい。後は事務局のほうはありませんか。</p>
<p>沖崎政策課長</p>	<p>はい、ございません。</p>
<p>平田部会長</p>	<p>無ければ終わっていいんですね。</p>
<p>沖崎政策課長</p>	<p>はい。</p>
<p>平田部会長</p>	<p>無いようですので、今日の第1部会を終了させていただきます。 ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>